



好きのスイッチ

お母さん、お父さんが大好き。

おなじくらいピーマンも大好き。

歌って踊ること、おしゃべりすること、

こげ茶色のランドセルを背負って登校する時間も、

全部、とっても大好き！

大好きなものがいっぱいの結夢さん。

その大好きを、絵や造形物、お手紙にして、

おうちで毎日伝えてくれるのだそうです。

好き・嫌いの感情は、人が生きていくために、

身につけた力の一つだといわれます。

脳の扁桃核という部分が、過去の刺激をもとに、

安全や快をもたらすものには好感を、

危険をもたらすものには嫌悪感を感じさせるのです。

作品から放たれている明るいオーラは、

「好き」を呼び起こす幸せな刺激で

結夢さんの毎日が満ちていることの何よりの証。

きっと明日も、新たな「大好き」を発見してきて、

お母さん、お父さんに、教えてくれるのでしょうね。